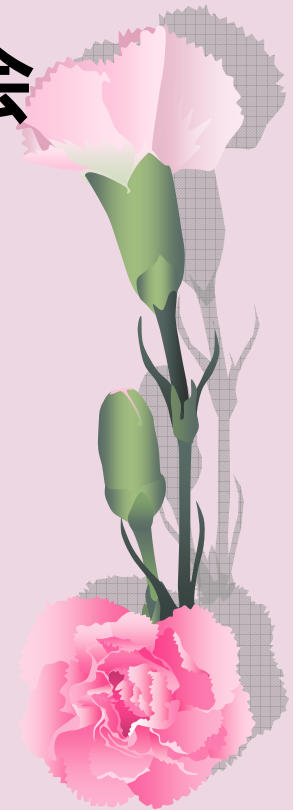


# 女性の生涯学習 —成人教育学の立場から—

内閣府監視・影響調査専門調査会  
2006年5月15日

三輪 建二  
お茶の水女子大学



# 目次

## 自己紹介

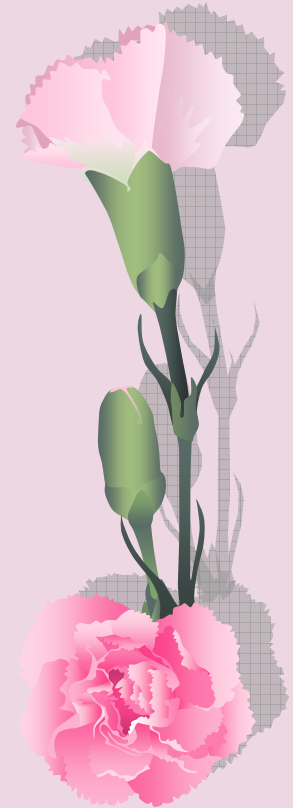
社会教育における女性(婦人)の学習

社会教育から生涯学習へ

協働の時代とグループ学習

成人女性の学習論

## まとめ



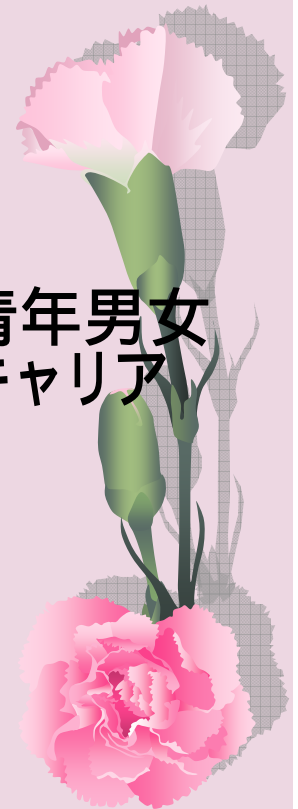
# 自己紹介

生涯学習論・成人教育論・社会教育学

成人学習論・成人教育学

- 成人学習者の特性を活かした学習支援
- 成人学習支援者の力量形成
- 専門職大学院
- 国立女性教育会館運営委員会委員・文部科学省青年男女の共同参画セミナー専門委員・文部科学省女性のキャリア形成支援プラン企画委員会委員、など

大学院・夜間大学院での授業実践



# 社会教育における女性(婦人) の学習

学校教育法に基き、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動(体育及びレクリエーションの活動を含む。)をいう。(社会教育法(1949年)第2条)

青少年・婦人団体を社会教育関係団体として認定、これに  
補助金を与える活動(10-14条) 団体志向  
公民館(20-42条)・図書館(9条)・博物館(9条)、青年の家、  
スポーツ施設等の施設の設置 教育委員会関連施設  
学校開放(43-47条)、 青年学級(婦人学級) 団体志向



# 婦人学級

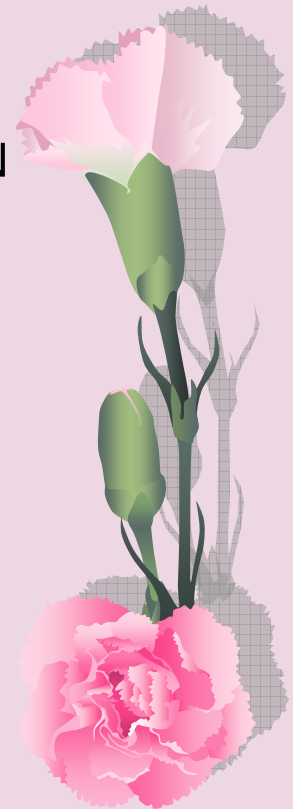
1954年 稲取町(伊豆半島)で文部省指定研究社会学級(実験社会学級)の一環として開設  
身近な生活課題を小集団で話し合う問題解決学習の実施

スローガンは、「承り学習から自ら学ぶ学習へ」  
旧婦人団体の解体と平行して全国に拡大

1961年～64年 3万以上

1966年～69年 約2万5千

1961年 文部省に婦人教育課設置

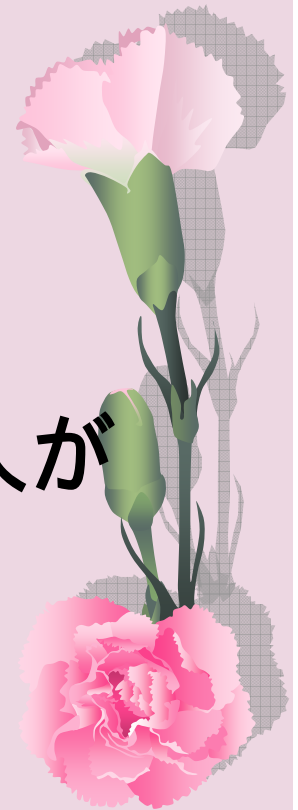


# 共同学習運動

1950年代 青年団・青年学級における「共同  
学習」運動の婦人学級への浸透  
デューイの経験学習・ワークショップ

1953年 青年学級振興法

共同学習が青年学級・青年団から婦人が  
急に継承



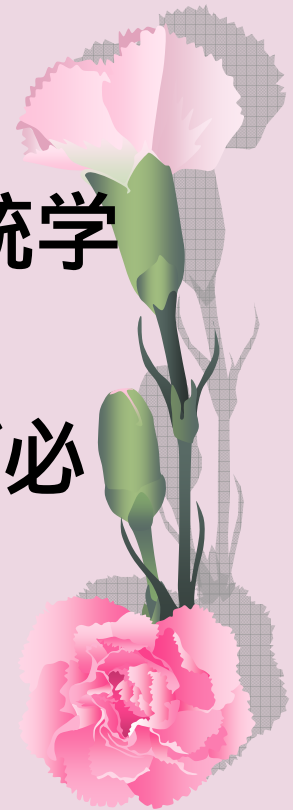
# 共同学習から系統学習へ

1960年代 共同学習から系統学習(社会科学学習)へ

都市化・高度経済成長

公民館では専門家の講義を傾聴する系統学習が中心に

婦人学級でも系統学習。また共同学習が必ずしも評価されない時期



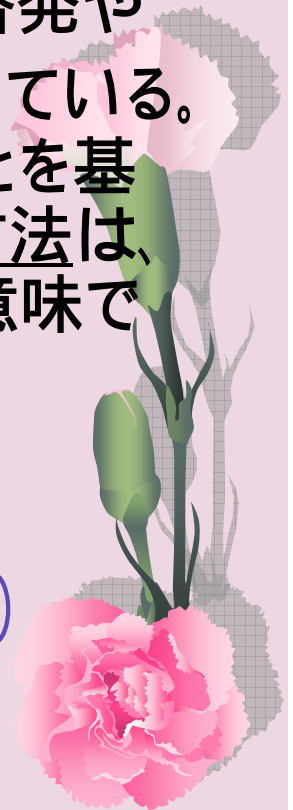
# 社会教育から生涯学習へ

## 1 個人志向 (1970 ~ )

変化の激しい社会にあっては、人々は、自己の充実・啓発や生活の向上のため、適切かつ豊かな学習の機会を求めている。これらの学習は、各人が自発的意思に基づいて行うことを基本とするものであり、必要に応じ、自己に適した手段・方法は、これを自ら選んで、生涯を通じて行うものである。その意味では、これを生涯学習と呼ぶのがふさわしい。

「生涯教育について」(中央教育審議会答申1981年)。

集団志向から個人志向へ(共同学習の停滞)





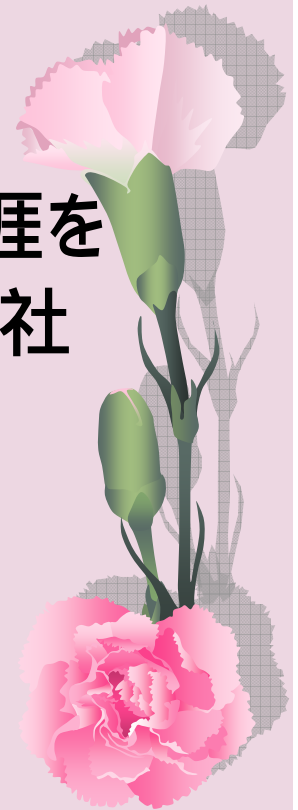
## 2 知識・技術の高度化 (1980～)

- ・国民の価値観が高度化・多様化
- ・新しい知識や技術を継続的に学習する必要
- ・人生50年型から人生80年型の社会へ移行

教育に対するこのようなインパクトに対して、生涯を通ずる学習の機会が用意されている『生涯学習社会』を建設することが重要

臨時教育審議会第一次答申(1985年)

大学開放など婦人学級以外の学習機会の整備



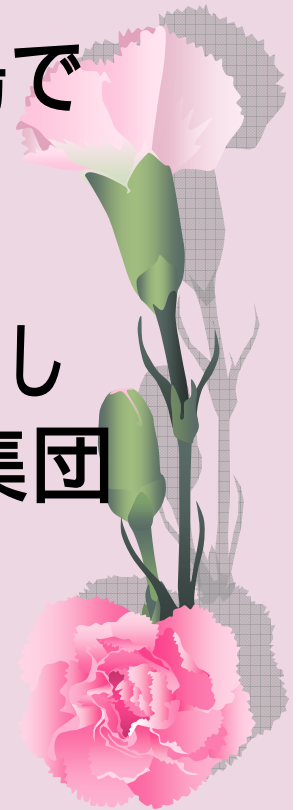
### 3 女性学の浸透 (1970年代～)

1975年以降

女性学

家庭を含めて社会を男女が対等の立場で  
ともに作っていくことが男女平等

新しい視点であるとはいえ、新しい知識として  
啓蒙的に学習する傾向(共同学習・集団  
学習の衰退)

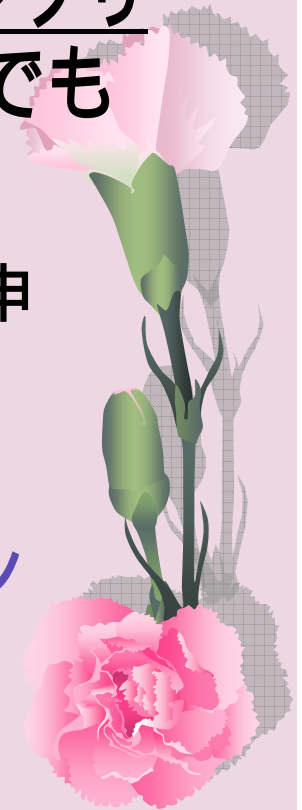


## 4 インフォーマルな学習 (1980 ~)

生涯学習は、学校や社会の中で意図的、組織的な学習活動として行われるだけでなく、人々のスポーツ活動、文化活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動等の中でも行われるもの

「生涯学習の基盤整備について」(中央教育審議会答申1990年)

(女性の参加の多い) ボランティア活動でのインフォーマルな学習を含める



## 5 教委以外の管轄の施設・教育機能

生涯学習のために、自ら学習する意欲と能力を養い、社会の様々な教育機能を相互の関連性を考慮しつつ総合的に整備・充実しようとするのが生涯教育の考え方である。

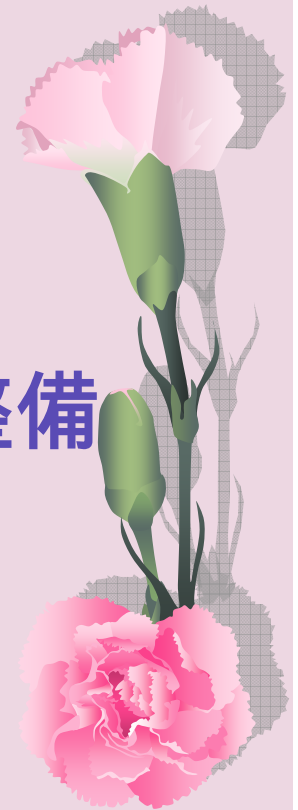
『生涯教育について』同前

社会教育課から生涯学習(振興)課へ

地域の教育施設・教育機能の統合的整備

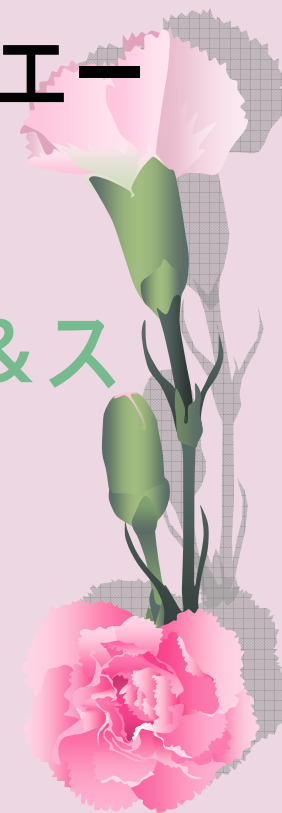
生涯学習課は統合の役割

教育委員会に属しない女性課



## 学習情報の提供(個人志向)

- ・教育委員会以外の管轄の事業も網羅
- ・民間教育文化産業の事業(趣味・レクリエーション)も情報提供
- ・冊子の提供(東京都中野区「生涯学習 & スポーツガイドブック」)
- ・情報のデータベース化(ヌエック)

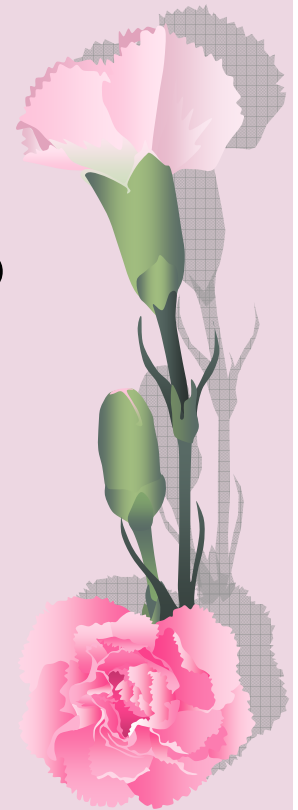


# 重要な現代的課題の講座の提供

現代的な学習課題(少子高齢化・情化・グローバル化など)の一つとしての  
男女共同参画の学習

個人の学習ニーズとしては上位に上がらないが、学ぶ必要性の高いと思われる  
課題の提供

例:男女共同参画に関する講座

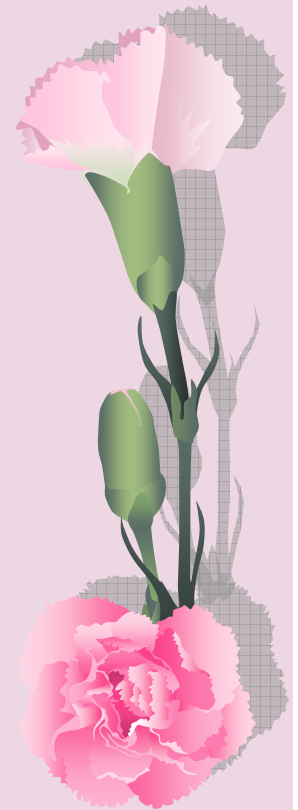


# 協働の時代とグループ学習 (1990～現在)

## 1. 女性学(男女共同参画)学習の転換

- ・女性学の内容の理解の浸透
- ・啓蒙的な講義から参加型学習(ワークショップ)へ
- ・個人学習からグループ学習へ
- ・戦後の共同学習と類似の転回

例: ヌエックの事業



## 2 行政との協働 (1990年代後半～)

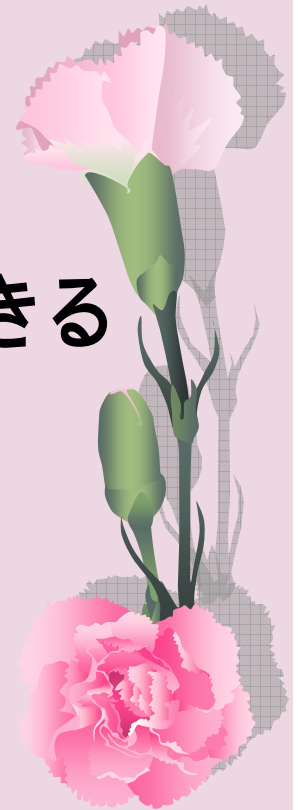
社会参加・社会参画 (participation)

女性のあらゆる意思決定過程への参加  
(1995、北京女性会議)

協働 (cooperation)

NPO・ボランティア団体が行政と協働できる  
能力

エンパワーメントをめざす生涯学習  
個人志向から再びグループ志向へ



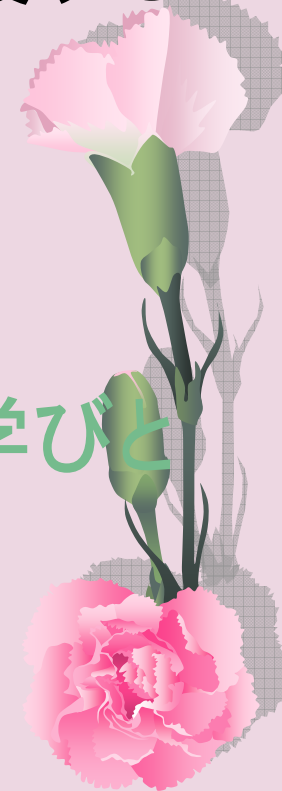


### 3 女性リーダーの養成

- ・女性の意思決定過程への参加のための学習
- ・行政との協働のための力量形成を支援する学習

例：女性リーダー養成講座

『学習支援ハンドブック：協働の時代の学びと実践』日本女性学習財団、2006年



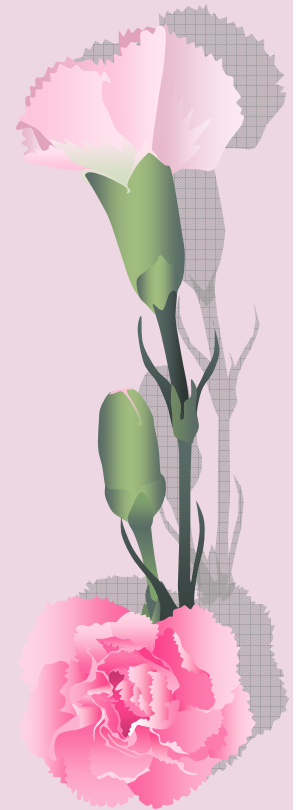
# 成人女性の学習論

参加型学習(ワークショップ): 自主性

女性学: 男女共同参画の視点

この2点があると大丈夫なのか？

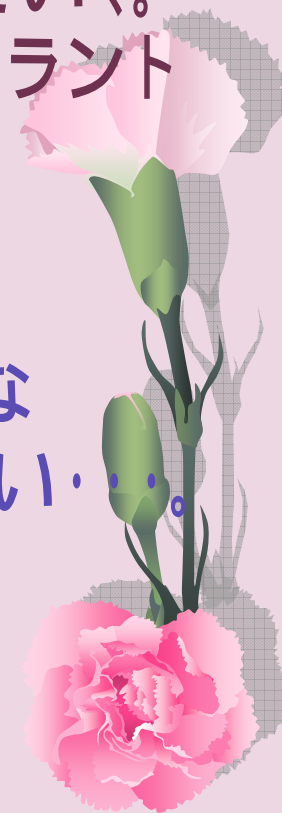
成人教育学(アンドラゴジー)



# 到達目標としての自己決定(自律)性

成人は、はじめから自己決定性を身に着けているわけではなく、学習を通して自己決定性を獲得していく。自己決定性を促す学習と支援が必要である (クラントン、1999)

例: 女性学は学んだけれど、実生活に適応できない……。学んだことと実際の行動が結びつかない。



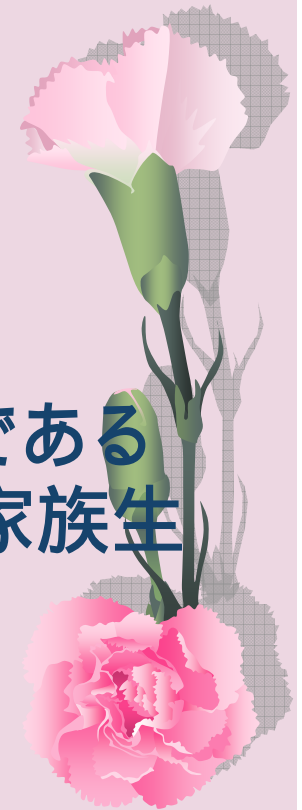
# 女性の人生経験への気づきと変容

人生経験・職業経験や価値観をふり返る学習(意識変容の学習)

性別役割分業観についての意識

気づいていない価値観への気づきと省察

例) ある学習者(女性)のニーズは、再就職であるが、真のニーズは、仕事をするものの意味、家族生活の再検討が含まれるのではないか…。



# まとめ

## 歴史的展開

社会教育(婦人学級)と共同学習

生涯学習と個人学習

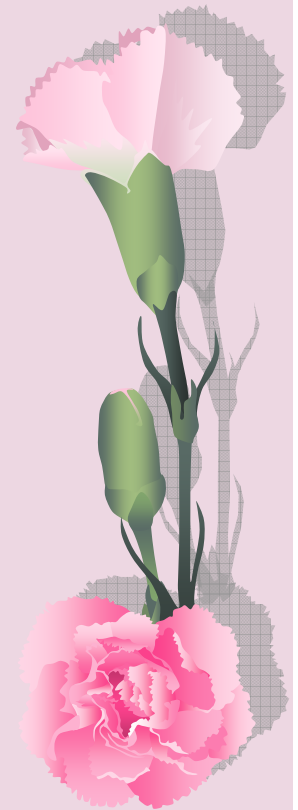
協働の時代のエンパワーメントの学習

## 女性の学習論

自己決定性の獲得と意識変容

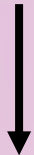
グループでの学習とエンパワーメント

リーダー養成



# 女性の学習の支援

教師から**教わる** (講座)



**自律的に学ぶ**



**エンパワメント**

性別役割分業観の変容  
行政と渡り合える力  
教師からの問いかけ

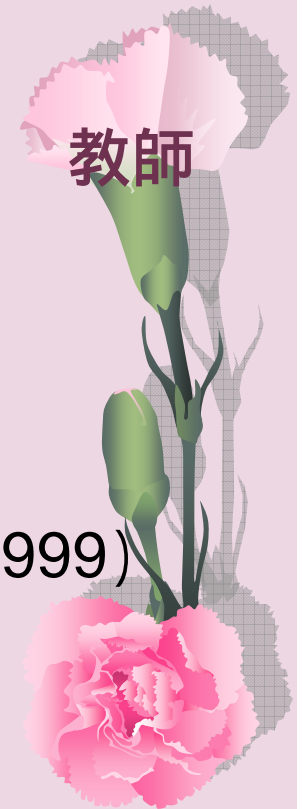
学習者主体

過去

現在

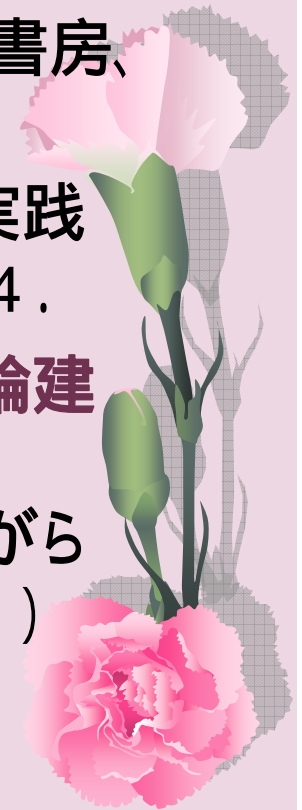
(クラントン、1999)

教師



## 参考文献 (三輪のものを中心に)

- 入江直子・志熊敦子「日本の女性たちは何を切り拓き、獲得してきたのか(後編) - 婦人学級から学ぶこれからの女性の学習 - 」『月刊 We Learn』Vol.639, 2006(2), p.3-8.
- P. クラントン『おとなの学びを拓く - 自己決定と意識変容をめざして』(入江直子・豊田千代子・三輪建二訳) 鳳書房、1999.
- P. クラントン『おとなの学びを創る - 専門職の省察的実践をめざして』(入江直子・三輪建二監訳) 鳳書房、2004.
- D. ショーン『省察的実践者とは(仮題)』(柳沢昌一・三輪建二監訳) 鳳書房、2007(何とか出します)(部分訳D. ショーン『専門家の知恵 - 反省的実践家は行為しながら考える』(佐藤学・秋田喜代美訳) ゆみる出版、2001.)



日本女性学習財団編『学習支援ハンドブック』2006 .

M . ノールズ『成人教育の現代的実践 - ペダゴジーからアンドラゴジーへ』(堀薫夫・三輪建二監訳)鳳書房、2002 .

K . マイセルほか『おとなの学びを支援する - 講座の準備・実施・評価のために』(三輪建二訳)鳳書房、2000 .

S . メリアム、R . カファレラ『成人期の学習 - 理論と実践』(立田慶裕・三輪建二監訳)鳳書房、2004 .

三輪建二『ドイツの生涯学習』東海大学出版会、2002 .

